

学習に役立つ 展示品のご案内

(展 示 品 一 覧 表)

小学4年生 Ver.2
教科書《大日本図書》関連単元を表示



京都市青少年科学センター

〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13
TEL075-642-1601 FAX075-642-1605

展 示 品 一 覧 表

番号	展 示 品 等	階	展示品の学習への効果など	小4教科書単元 (大日本図書) ゴシック体は強い関連
002	カブトムシの家 	屋外	夏の人気者カブトムシをたくさん見ることができます。カブトムシの家ではできるだけ自然に近い環境をつくって育てています。ここでは成虫を実際に手にとって観察学習してもらうことができます。《夏季のみで公開時間が決まっています。》	●季節と生き物 (春)(夏)(夏のおわり)(秋) (冬)
003	屋外園 植物 動物 	屋外	屋外園には200種以上の植物があり、四季折々の花などを観察することができます。また、植物の育つ環境のもと昆虫などの小動物のようすを観察することができます。時計下の「屋外園案内掲示板」や館内のマルチビジョンでは、その時期に見ごろの植物を紹介しています。	●季節と生き物 (春)(夏)(夏のおわり)(秋) (冬)(春のおとずれ)
005	屋外園 百葉箱 	屋外	屋外園の芝生広場中央にあります。空気の温度は地面のようすや地面からの高さによってちがうので、百葉箱はそれらの条件を考慮して設置されていることが学習できます。また、展示場3階の気象コーナーでは百葉箱の内部がわかるような展示品があります。	●天気と気温
008	屋外発電機 	屋外	大きな鏡で太陽の光を反射させて太陽電池に集めると、池の中にある小便小僧がオシッコを飛ばしたり、ロボットがバーベルを上げ下げしたりするので、太陽光発電が実感として捉えられます。また、水力や風力による発電も見ることができ、電気をつくる仕組みが学習できます。	●電池のはたらき
010	プラネタリウム 	2	一般向けと幼児や小学校低学年(ちびっこ)向けの投映を定時に行っています。さらに学校などを対象とした団体向け投映も行ないます。いずれも状況に合わせた生の解説でわかりやすさを一番に心がけています。《プラネタリウムを御覧いただくには別途観覧料が必要です。》	●星や月(1)星の明るさや色 ●星や月(2)月の動き ●星や月(3)星の動き
011	プラネタリウム入口前展示 	2	プラネタリウムへ向かう入口前までの青い通路は宇宙への関心を高める展示品・掲示物のコーナーです。太陽系の動く天体模型をはじめ、宇宙でおこった天文現象や宇宙観測の歴史的な出来事などを紹介しています。《プラネタリウム入場とは関係なく御覧いただけます。》	●星や月(1)星の明るさや色 ●星や月(2)月の動き ●星や月(3)星の動き
025	振り子は語る フーコーの 振り子 	2	長さ約8mの振り子を午前9時に赤い線に沿ってふらせると、自然に振動方向が変わっていきます。それは地球が自転しているからです。隣の回転台のついた展示品で“地球人”になったり、“宇宙人”になったりするとわかります。地球の自転は星の動きとも関係しています。	●星や月(3)星の動き
038	アジアゾウ 友(トモ) 	2	京都市動物園にいたアジアゾウ「友(トモ)」の骨格標本です。長い鼻に骨はあるのでしょうか。歯は何本でどんな形をしているのでしょうか。首の骨や足の骨もよく観察してください。人間や他の動物と比べて、同じところやちがうところを見つけることができると学習が深まります。	●わたしたちの体と運動

045	タルボサウルス 模型		2 タルボサウルスの全身骨格の復元模型があります。この観察を通して、化石とは何か、どうしてできたか、さらには化石からわかる大昔の生き物の生態を想像することができます。こうした学習を通して、化石に対する認識を広げたり、科学的に類推する能力を育てられます。	●わたしたちの 体と運動
051	サウロロフス 模型		2 サウロロフスの全身骨格の復元模型があります。この観察を通して、化石とは何か、どうしてできたか、さらには化石からわかる大昔の生き物の生態を想像することができます。こうした学習を通して、化石に対する認識を広げたり、科学的に類推する能力を育てられます。	●わたしたちの 体と運動
057	小動物の骨格		わたしたちの体を動かすしくみを理解するために動物の骨の仕組み知ることは大変役に立ちます。ここではサカナ、ネズミ、トリ、ヘビ、カエルの骨格標本を展示しています。恐竜の骨の化石と合わせて学習すること効果的です。	●わたしたちの 体と運動
087	太陽の動き		3 太陽の光のできる棒の影は時刻や季節によって変化します。地面に垂直に立てた棒の影は、時間の経過と共に変化し、影の先端を結んだ線(日影曲線)は季節によって違った形を示します。実際には時間をかけて調べなければ分からないことが、ここではすぐにわかります。	●天気と気温
108	ひまわり くらしと気象		3 “ひまわりの画像の見方”、“気象衛星の画像と天気図”、“天気図の見方”、“ひまわりでみた四季”といった展示品、掲示物があります。気象衛星“ひまわり”でとらえた数日間の雲画像から、雲の動きに一定のきまりがあることを知り、今後の天気を予想ができます。	●自然の中の 水
109	気象コーナー		3 “高気圧と低気圧”、“気象観測と天気の変化”、“百葉箱の中の気象観測機器”、“前線と雲”、“前線と天気”といった展示品、掲示物があります。気象観測の基本を学ぶとともに、天気の移り変わる理由など基礎的な学習ができます。	●天気と気温 ●自然の中の 水
121	マチカネワニ		3 新生代第四紀を代表するワニの骨格標本です。大阪で見つかりました。約40万年前のレプリカ標本です。	●わたしたちの 体と運動
122	デスモスチルス		3 新生代新第三紀を代表する哺乳類の骨格標本です。化石骨の復元模型と現生の生物をくらべることで当時のようすを知ることができます。	●わたしたちの 体と運動
129	ふしぎな シーソー		3 5つのいすがありますが、注目したいのは、子どもでも重い体重の大人を持ち上げることのできるシーソーです。直径のちがう大小2つのいすをパイプでつないで、小さな力で重いものを持ち上げる仕組みになっています。ふしぎな体験を通してパスカルの原理を体感してください。	●とじこめた空 気や水

130	どっちがらくちん?		3 大小ふたつのボタンがあります。それぞれのボタンはパイプを介してサルとつながっていて、ボタンを押すとどちらもサルが木登りをはじめます。同じ大きさの力で押しても面積が小さいと力が集中してはたらくのでサルは楽にあげられます。そのかわり、大きいボタンを押したときは？	●.とじこめた空気や水
133	空気がうすくなっていくと		3 私たちが取りまいてる空気にも体積や重さがあることをあらためて知ることができます。それは、空気を薄くしていくと分かります。空気が薄くなると風や音はどうなるのでしょうか。人工的に空気の薄いところをつくって、空気がどんなはたらきをしているか考えることができます。	●.とじこめた空気や水
135	気候と環境体験ルーム		3 湿度によって感じる暑さがちがうことを体験できる部屋です。“砂漠の部屋”と“京都の夏”の部屋に入ってみると“京都の夏”の部屋の方が暑く感じます。気温はどちらもほぼ同じ35℃なのに対し、湿度は砂漠20%、京都70%程度になっています。体感のちがいを学習します。	●自然の中の水
137	電気と磁気のワンダーランド(壁面展示)		3 導線に電気が通ると磁界ができ、逆に導線のそばで磁石を動かすと電気がおこる、電気と磁気の不思議な関係があります。この壁面では3極モーターの回転するわけがわかる展示品や電線(コイル)を近づけると音が出る展示品などで、電気と磁気不思議について考えます。	●電池のはたらき
138	電気と磁気のワンダーランド(台上展示)		3 導線に電気が通ると磁界ができ、逆に導線のそばで磁石を動かすと電気がおこる。電気と磁気不思議な関係です。この台上では、電磁石、電流と磁界、発電機と変圧器、そして電気ブランコと電磁誘導などの展示品を使った実験によって電気と磁気不思議を考えます。	●電池のはたらき